

大牟田市の特色ある教育

ユネスコスクール・ESD

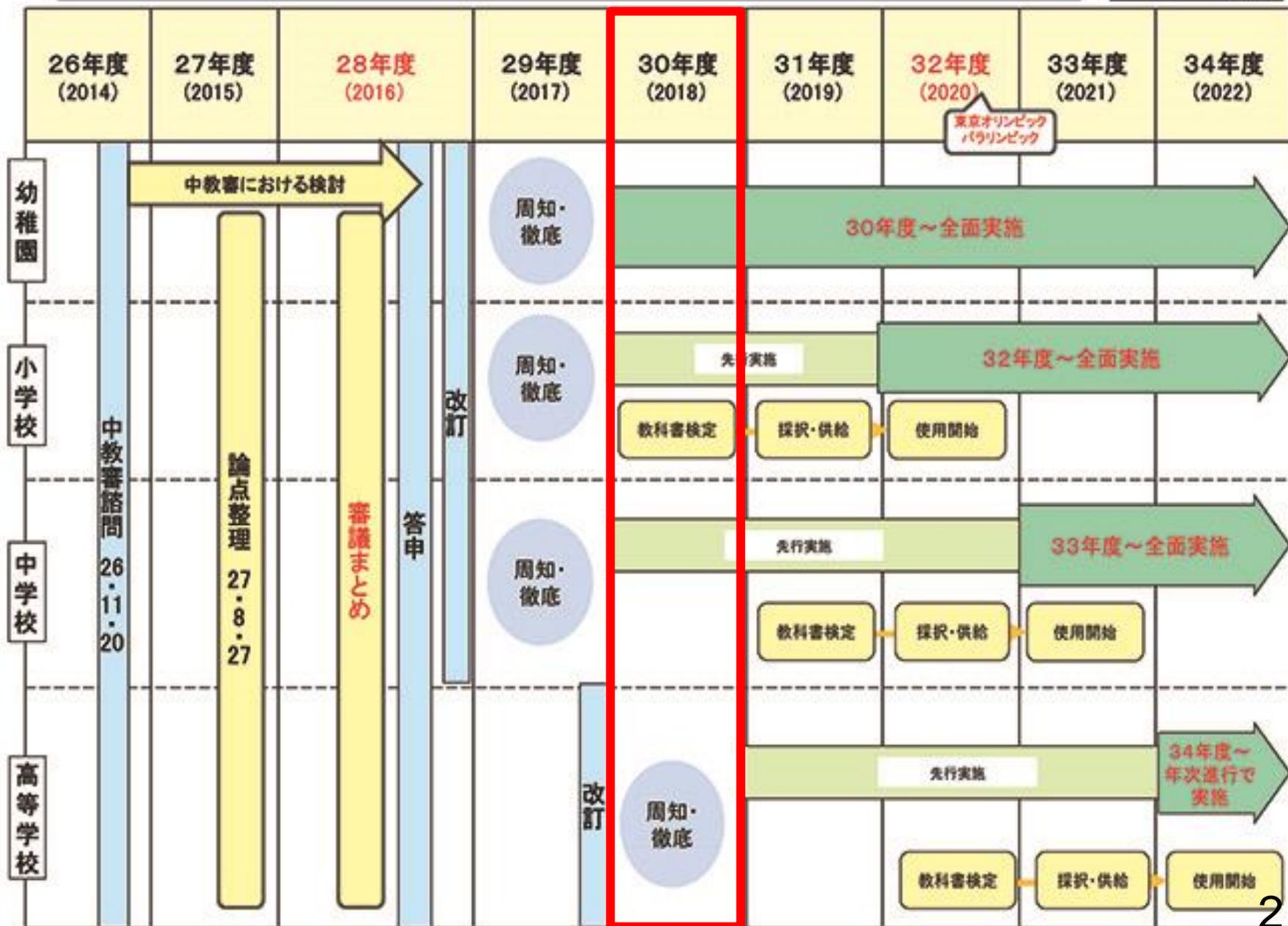
担任が進める外国語活動



大牟田市教育委員会
平成30年10月9日

今後の学習指導要領改訂スケジュール（現時点の進捗を元にしたイメージ）

平成28年8月26日
中央教育審議会
教育課程部会
資料3



人工知能が進化して、
人間が活躍できる職業は
なくなるのではないか。

今学校で教えていることは、
時代が変化したら
通用しなくなるのではないか。

子供たちに、情報化やグローバル化など急激な社会的変化の中でも、
未来の創り手となるために必要な知識や力を
確実に備えることのできる学校教育を実現します。

人工知能(AI)の進化は、習得・活用・探究を重視した我が国の学校教育における学習過程の強みを実証しています。

AIは、人間が物事を深く理解する過程（個々の知識を関連づけて概念を理解していく学習過程）を模した「ディープ・ラーニング」を取り入れ、飛躍的に進化。

⇒習得・活用・探究を通じた過程の中で、新たな知識を、自分が持つ経験やその他の様々な知識と関連づけながら深く理解し、どのような時代でも通用する、生きて働く知識として身に付けていく、という学習過程の強みが実証。



新しい教育課程では、**学校教育のよさをさらに進化**させていきます。

- ・これからの時代に求められる知識や力とは何かを明確にし、教育目標に盛り込みます。これにより、子供が学びの意義や成果を自覚して次の学びにつなげたり、学校と地域・家庭とが教育目標を共有して「カリキュラム・マネジメント」を行ったりしやすくなります。
- ・生きて働く知識や力を育む質の高い学習過程を実現するため、各教科における学びの特質を明確にするとともに、授業改善の視点（「アクティブ・ラーニングの視点」）を明確にします。これにより、教科の特質に応じた深い学びと、我が国の強みである「授業研究」を通じたさらなる授業改善を実現します。

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、歴史的な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

学習指導要領改訂の方向性とESD

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

資質・能力

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

目標

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育成する

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

ESD

何を学ぶか

どのように学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・
ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

内容

外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮
新設など

で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造
的に示す

学習内容の削減は行わない※

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高
い理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

方法

※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、
そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

【新学習指導要領】は…資質・能力の育成

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と 学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造
的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・
ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高
い理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、些末な事象的知識の増記が大学入学選抜で問われることが課題になっており、
そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

資質・能力の育成に向けて…学習内容は

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない[※]

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・
ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、豊かな基底的知識の確保が大学入学資格取得で求められることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

資質・能力の育成に向けて…学習方法は

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造
的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・
ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高
い理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び
対話的な学び

深い学び

※高校教育については、従来の事実に基づく知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、
そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革を進める。

全国に先駆けた小学校外国語活動の取組

- 平成12年度から市内全小学校で開始



<平成30年度>18年経過

- 1・2年生・・・年間15～20時間程度(英語活動)

→本市の特色

- 3・4年生・・・年間35時間(外国語活動)
 - 5・6年生・・・年間70時間(外国語科)
- 先駆的
取組

<学級担任中心>とした指導

※新学習指導要領

平成32年(2020年)から3・4年生で外国語活動
／5・6年生で教科



大牟田市における外国語活動

基本的な考え方

① だれが指導



① 担任が中心

本市の特色(全国のモデル)

② どんな内容



② 身近で具体的な題材
(文科省配布新教材)

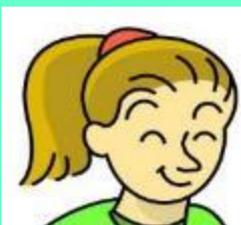
③ どのように指導



③ 体験的活動を中心に

大牟田市における指導体制の工夫

T2  **LGT**
6年
Language Guest Teacher

T2  **ALT**
1年~5年
Assistant Language Teacher

あくまで
支援のための活用


担任
(HRT)

なぜ学級担任が進めるのか

- 子どもの実態を把握
- 子どもに応じた活動の計画
- 子どもの様子を見ながら指導
- 教師の活動の姿を見て、子どもも意欲的に
- 英語の授業のよさを学級経営に生かして

指導にあたっての配慮事項

5つの指導原則

- 「面白かった」という声を大切に
- まちがいを気にしない
- 聞いたり話したりする音声を中心に
- 子どもと担任、子ども同士の交流を大切に
- 体験自体を大切に



授業のポイント

- スマイル(“Smile”)
- 子どもの目を見て(“Eye contact”)
- 自信をもって(“Clear voice”)
- タイミングよく
- テンポよく



進んでコミュニケーションを

相手意識
目的意識

相手の話す英語を聞いて、それを理解しようとする態度

『**しっかり聞く**』

相手に何らかの反応を示そうとする態度

『 **話す** 』

読む・書く

市教育委員会主催の研修会

- 教員のニーズに応じた多様な研修会
 - ①授業を中心とした研修会
 - ②理論について学ぶ研修会
 - ③具体的な外国語活動の授業を進めるための研修会
 - ④教員や保護者を対象に外国語活動推進を図るための講演会
 - ⑤教員の英語力の向上を図るための研修会
 - ⑥各学校の実践の交流の場

ECT便りの活用



News Letter from E.C.T.

大牟田市外国語活動担当者会 会長(宮下 哲夫) 副会長(松尾 直子, 西峯 高史)
校長会(奥蘭 和司, 戸塚 俊也) 部長(田尻 真子)



No.156

平成30年9月

8 Sep. 2018

《高取小学校の実践》

We Can! 2 Unit3

『He is famous. She is great.人物紹介』

「クラスの友だちについてクイズを作り、クイズ大会をする」という単元のゴールを設定しました。そこで、単元の最初に、学校の先生についての Who am I クイズを紹介し、単元のゴールを意識させました。また、Warming up の中で、Small Talk として、いろいろな先生のクイズを紹介していきました。

単元の前半では、ポインティングゲームやミッシングゲームなどを通して、語句に慣れ親しませました。この単元は「主語+動詞+目的語」の文の語順への気付きをねらっているため、単元の後半では、動詞グループと目的語グループに分かれ、意味の通る文を作るというマッチングゲームを行いました。ゲームの最後には、We Can!のワークシートの4線を活用し、作った文を書き写す活動を取り入れました。

書き写した文やアルファベットの書き方を生かしてクイズ作りを行ったことで、子どもたちも意欲的に書く活動に取り組むことができたと思います。

(高取小学校 松村 郁香)

英語で伝え合った ジョイフル・イングリッシュタイム

8月28日(火)、大牟田文化会館で小学生、中学生対象の大牟田市教育委員会主催のジョイフル・イングリッシュタイムが行われました。小学生は5、6年生54名、中学生17名の参加でした。

小学生の部では、友達と英語での「聞く」「話す」「読む」「書く」体験活動にチャレンジしました。ALTの先生と一緒にゲームをしたり、クイズに答えたりしました。英語で自己表現活動を行いました。

中学生の部ではALTや友達とオールイングリッシュでのコミュニケーション活動にチャレンジしました。始めに身体を使ったダンスやアイスブレーキングでリラックスした後、インタビューをしました。最後は、大牟田や福岡のPRを英語で行いました。英語で伝え合うことを実感した一日ではなかったでしょうか。

(中友小学校 西峯 高史)



《指導者の表現例》

身の回りの物について尋ねたり答えたりする際に使う表現例です。ぜひ使ってみてください。

- Can you guess?
何がわかりますか。
- You can say it in Japanese.
日本語で言ってもいいですよ。
- How do you say ~ in Japanese?
~を日本語で何と言いますか。
- Do you need hints?
ヒントは必要ですか。
- Let's make hints.
ヒントを作りましょう。
- Who knows the answer?
答えが分かる人は誰かな。

(吉野小学校 永松 瑠璃)

私のおすすめ教材《アルファベットカードゲーム》 Aa Ff (大正小学校 坂本 真奈美)

Let's try! 2 Unit6 『Alphabet』 や We can! 1 Unit 『Hello everyone.』 では、アルファベットがでできます。文字を見て名称を発音できるようにしたり、活字を書くことができるようになるための活動の一つを紹介します。

クラスをAとBの二つのグループに分けます。それぞれにアルファベットカードを配り、自分と同じカードを持っている友だちを "What alphabet do you have?" "I have S." の言い方を使いながら探していきます。1回戦は大文字のアルファベットのカードで、2回戦は小文字ですすることもできます。全員がそれぞれ自分と同じカードを持った友だちを見つけたら、ペアで "We have S." などと紹介し合って終了です。カードは、Let's try! や We can! のテキスト後方の児童用カードをダウンロードして使えます。

大牟田英語教育ステップアップ推進事業

学校教育課指導室

児童生徒の英語を使う実践力の向上

本市の英語教育の成果と生徒の英語力の向上に係る国の目標を踏まえ、小・中学校の学年に応じた新たな事業に取り組み、児童生徒の英語を使う実践力の向上を図ります。

イングリッシュ・サマースクール

○全小学校が夏休みに6年生を対象に開催するスクールに「イングリッシュ・アドバイザー」を派遣

イングリッシュ・ノート

○小学6年生用に作成し、外国語活動の学習で活用

イングリッシュセミナー(中学生)

○世界遺産等の「子どもイングリッシュボランティアガイド」育成コース
○ガイド用資料作成コース

オオムタ・E1グランプリ

○英語教育の発表の場
○小学生(スキット)と中学生(スピーチ、暗唱)のコンテスト
○優れた発表者の表彰

ジョイフル・イングリッシュ・タイム

○新学習指導要領の先行実施
○小学生コースと中学生コース
○「聞く」「話す」「読む」「書く」の学習

AIロボットの活用等

○小学校1校を研究指定
○先進的な英語教育の調査研究

英検検定料の一部補助

○小学校では英検5級の受験希望者に補助
○中学校では英検3級の受験希望者に補助

情報発信の充実

○保護者や市民に向けて情報発信
○ホームページや『広報おむた』等の活用

◎ 全国に先駆けて取り組んできた本市の小学校英語活動・外国語活動の成果や、国が進める児童生徒の英語力の向上に係る施策、新学習指導要領等を踏まえ本市の児童生徒の英語を使う実践力を向上させる必要があります。17

大牟田市

ユネスコスクール・ESDの取組



大牟田市が進めるESDは教育の質の向上

学習指導要領の改訂の方向性とESD

- ①2016年12月:中央教育審議会答申において
 - 持続可能な開発のための教育(ESD)は次期学習指導要領改訂の全体において基盤となる理念である。
- ②2017年3月公示:小・中学校学習指導要領
 - 前文及び総則において、持続可能な社会の創り手の育成が掲げられる。
 - 各教科にESDに関連する内容が盛り込まれる。



ESDが新学習指導要領全体において基盤

持続可能な開発のための教育（ESD）について

Sustainable Development（持続可能な開発）とは…「将来の世代が自らのニーズを充足する能力を損なうことなく、今日の世代のニーズを満たすこと」

※ 国連「環境と開発に関する世界委員会（ブルントラント委員会）」
報告書『我ら共通の未来（Our Common Future）』（1987年）における定義

持続可能な開発のための教育（ESD）

とは…「持続可能な社会の担い手を育む教育」

持続可能な社会の担い手を育むため、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分で考え行動を起こす力を身に付けるための教育。

ESDで育む能力・態度

- ①批判的に考える力
- ②未来像を予測して計画を立てる力
- ③多面的・総合的に考える力
- ④コミュニケーションを行う力
- ⑤他者と協力する態度
- ⑥つながりを尊重する態度
- ⑦進んで参加する態度 など

子どもが 自ら学び 共に学び合う



主体的・対話的で深い学び

まちづくりに参画する授業実践例1(地域学習)

桜を通した 笑顔あふれる

吉野の町づくり

～吉野小 桜プロジェクト～



大牟田市立吉野小学校 5年生 22

美しく つながりのある 吉野のまちづくり



吉野小 桜プロジェクト

桜で満開の美しい
町に！

オブジェ



ボランティア清掃



絆プロジェクト (吉野の地域)

子どもたちとの植樹



バザー

さくら餅バザー



募金活動

- ・夏まつり
- ・運動会
- ・どんど焼き



学習会

実践内容の企画・運営



【連携】

まちづくりに参画する授業実践例2 子ども民生委員

お年寄りも笑顔で住みよい まちづくりを

一人暮らしのお年寄りのお宅を民生委員さんと訪問しています。



高齢者の方に大牟田の
ことについて学ぶ



商店街「十日市」への参加による まちおこし

○「十日市プロジェクト」

まちおこしのために、校区内の銀座商店街で毎月十日に開催される「十日市」に、参加して発表などを行っています。



中友小児童による、和太鼓の発表・世界遺産饅頭の販売

まちの方から「商店街に子どもたちの声が響いて、元気をもらっています。」との声が聞かれています。

商店街の方から「子どもたちの発表で、商店街に賑わいが戻ってきています。」と、喜びの言葉をもらっています。



活動例（**駿馬小**＜世界遺産学習＞）

- 「宮原坑」について調べる。
- 「三池炭鉱専用鉄道敷跡」について調べる。



子どもボランティアガイド



活動例（**白光中**＜福祉学習＞）

- 高齢者とペアショッピングをして交流

- ◇買い物しやすいか
 - ◇歩きやすいか
 - ◇表示は分かりやすいか
- 等の視点で調査



高齢者との交流



改善点を整理

認知症学習

活動例(みなと小・天領小・天の原小) ＜海洋教育・世界遺産学習＞

- 「三池港」について調べる。
- 「三池港クイズ新聞」の作成。

港から海岸へ(干潟の生き物観察)



活動例

(歴木中＜健康教育・「早寝・早起き・朝ごはん」の推進＞)

- ◇生徒会健康委員会での啓発
 - ・健康新聞発行
 - ・ポスター作成
 - ・健康集会など
- ◇教科等で生活習慣・食生活に関する指導
- ◇保護者との連携
 - ・親子朝ごはん料理教室(講師:料理研究家)
 - ・「朝ごはん料理コンクール」など



健康集会

ユネスコスクール子どもサミット

成果発表会「ユネスコスクール子どもサミット」

市内小中学校3校と、熊本県宇城市立小川小学校(ユネスコスクール)によるESD成果発表



成果発表会「ユネスコスクール子どもサミット」

市内小中学校3校と、熊本県宇城市立小川小学校(ユネスコスクール)によるESD成果発表



ユネスコスクールの日の制定



市内の学校が一斉にユネスコ
スクールに加盟した日



1月17日

市職員対象の「ESD職員研修」

- SDGsとESDの言葉の意味と経緯
- 市立学校の取り組み
- 世界遺産など特徴的な取り組み

主な感想

- ・子ども達だけでなく、私たちの成長にもつながると思った
 - ・事業の企画の際にはESDの理念を重視して考えたい
- など



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です</p>

市をあげてESDを推進

【大牟田市役所】

大牟田市ESD推進本部の設置

市長→本部長

教育長→副本部長

各部の部長→推進委員

※各部でESDの視点で事業を推進



持続可能なまちづくり

「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた」 宣言

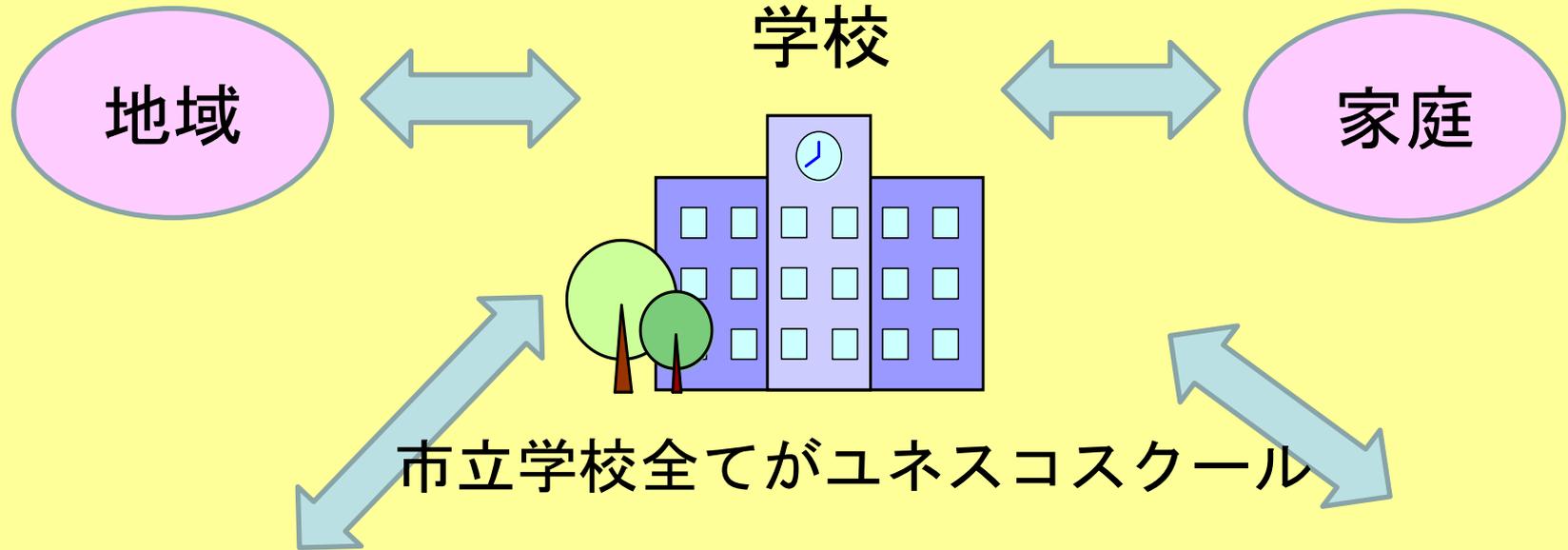
市長・議長・経済界
・福祉団体・教育委
員会・地域代表等
による宣言



子どもたちによるESDの発表



大牟田市がすすめているESD



大牟田市ESD推進協議会



地域や市民のみなさん

大牟田市ESD
推進本部



市役所:市長が本部長

大牟田市のESDの充実を目指して

大牟田市では、これまでのESDの取組を、さらに充実・発展



SDGsが掲げる17の目標を本市のESDに

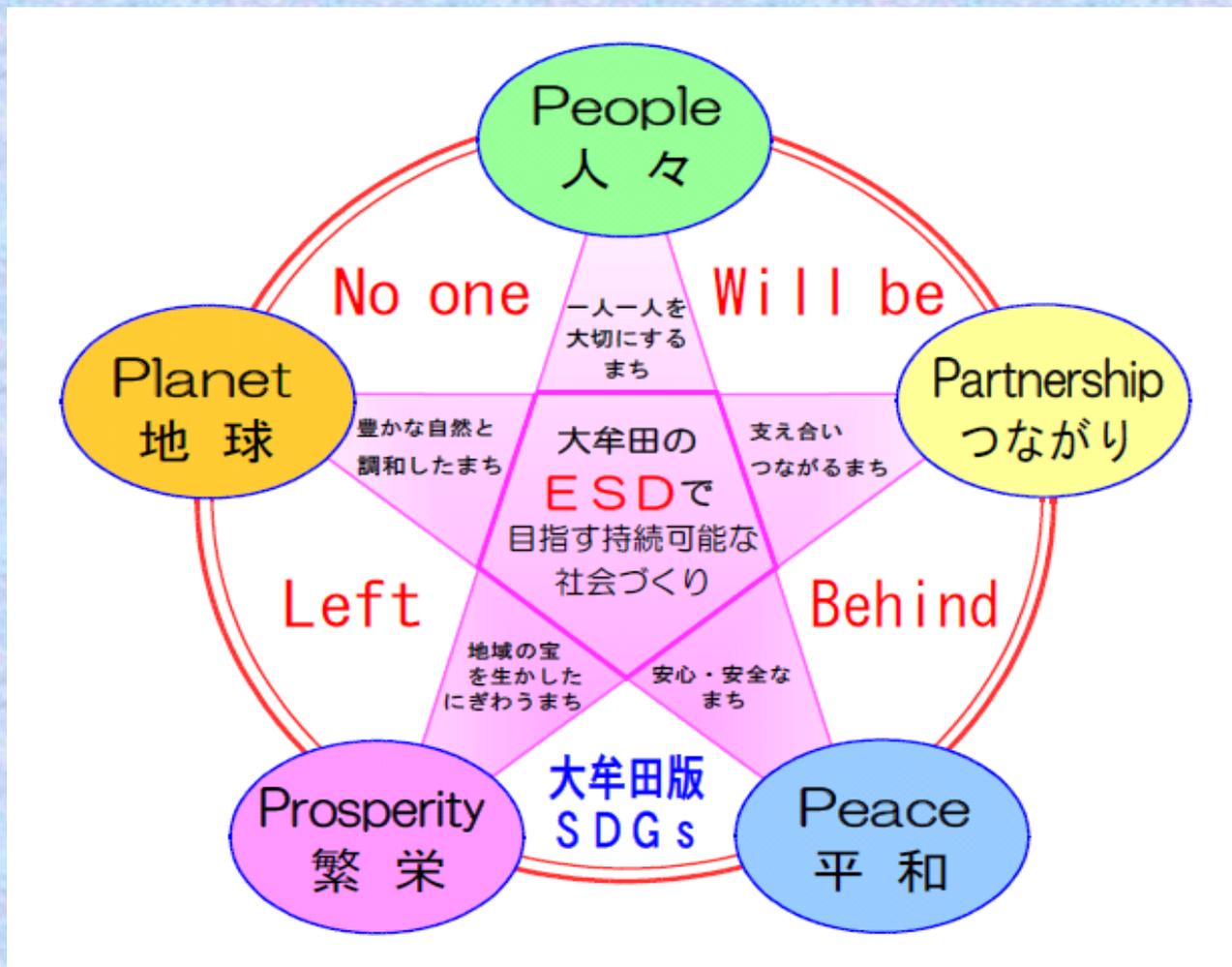
- 具体的なアプローチは、その学校・地域の課題やESDの取組方により様々
- SDGsを見据えつつ、学校や地域で足元の課題解決を大事にESDを推進することが重要



学校や地域の課題解決を大切にした
大牟田版SDGs

大牟田が目指すまちづくりのビジョンは

【People, Prosperity, Planet, Peace, Partnership】



誰も置き去りにしない

「大牟田版SDGs」で重視する10のゴール

【大牟田版SDGs】

< 重点目標 >



< Intensive Goals >

< 基盤目標 >

大牟田市ユネスコスクールの日制定宣言

17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



平成24年1月17日に大牟田市立の全小・中・特別支援学校がユネスコスクールに加盟しました。そこで、1月17日をユネスコスクールの日と制定しました。

- 一 私たちは、人と人とのつながりを大切にします。
- 一 私たちは、学校から地域へ、地域から世界へ、つながりの輪を広げていきます。
- 一 私たちは、過去から現在までのつながり、現在から未来へのつながりを大切にします。
- 一 私たちは、希望ある未来を創るため、学び続けるとともに、自分にできることから行動します。

< Basic Goals >

大牟田市学校教育振興プラン

4 質の高い教育を
みんなに



○基本理念

大牟田市では、「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、持続可能な社会づくりを担う子どもたちの育成を目指します。

持続可能な開発のための教育（ESD）を進め、大きな夢を抱き未来を創る「おおむたっ子」を育成します。

「おおむたっ子」

- おお 大きな夢を抱き未来を創る児童生徒
- むた 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒
- っ子 たくましい心と体を備えた児童生徒

大牟田市の特色

【課題】 ● 少子高齢化
● 石炭産業の衰退

【財産】 ○ エネルギー・環境（公害の克服）
○ 世界文化遺産（明治日本の産業革命遺産）
○ 海洋教育（有明海と三池港）

大牟田市のESDの推進を通して

ユネスコスクールのまち おおむた



ESDのさらなる充実



SDGsの目標達成



持続可能なまち おおむた

ESDがめざすことは…

think globally, act locally

地球規模の課題(平和、貧困、人権、環境等)を自らの問題として捉え、一人一人が自分にできることを考え、実践していくこと(think globally, act locally)を身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動



環境にやさしい、社会にやさしい、人にやさしい
未来につながる活動を、みんなでしましょう。

みんなで大牟田のまちづくりを



大牟田市公式キャラクター
「ジャー坊」

ご清聴ありがとうございました